

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2011年23週 (6月2週 6/6~6/12)

2011年5月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

今週の内容

トピックス

伝染性紅斑、麻しん、手足口病、日本脳炎
病原体検出情報
定点医療機関コメント
溶血性レンサ球菌感染症、伝染性紅斑(リンゴ病)、手足口病、感染性胃腸炎 等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(27)、腸管出血性大腸菌感染症(4)、アメーバ赤痢(1)、ウイルス性肝炎(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、ジアルジア症(1)、梅毒(4)、風しん(1)、麻しん(2)

2011年5月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

伝染性紅斑(図1)

23週の定点当たり報告数は1.38、22週212人、23週252人です。2011年愛知県においても、一部の麻しん疑い患者検体からヒトパルボウイルスB19(伝染性紅斑の病因ウイルス)が検出されています(2ページ「病原体検出情報」参照)。

【参考ページ】

伝染性紅斑が流行しています!(6月9日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/0000009508.html>

麻しんと診断された伝染性紅斑の家族例(病原微生物検出情報/国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://idsc.nih.gov/jp/iasr/31/367/pr3674.html>

麻しん

2011年は6月16日現在15件報告されています。年齢階層別内訳は、0~19歳8件、20歳以上7件です。麻しんの診断時には発生届と併せて、患者検体の提出をお願いいたします。

【参考ページ】

麻しん患者調査事業における麻しん患者発生報告状況

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_6.html

最近の知見に基づく麻疹の検査診断の考え方(国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://idsc.nih.gov/jp/disease/measles/pdf01/arugorizumu.pdf>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

手足口病(図2)

23週の定点当たり報告数は1.06、22週119人、23週193人です。豊橋市の定点当たり報告数は警報開始基準値5.0を超えています。

日本脳炎

1999年4月開始の感染症発生動向調査における愛知県の報告数は2007年1件(発病月9月)、2008年1件(同8月)の計2件です。

予防接種法に関する政令等の改正により、平成17年度から21年度にかけての日本脳炎の予防接種の積極的勧奨の差し控えにより接種を受ける機会を逸した者(平成7年6月1日~平成19年4月1日生まれ)に対して特例措置が設けられ、定期接種対象者は4歳以上20歳未満の者となっています。

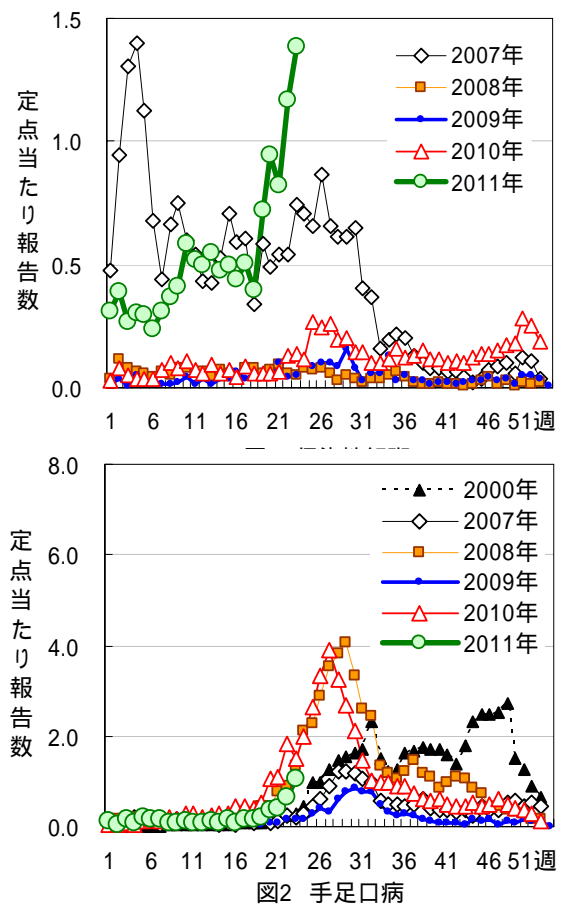
【参考ページ】

恐ろしい蚊による感染症 4 日本脳炎

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/mosquito.html#ni>

予防接種法施行令の一部を改正する政令及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行について

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou20/dl/yobou_1.pdf



病原体検出情報 - 平成 23 年疾患別ウイルス検出速報 -

6 月 15 日現在

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭腫熱	流行性角膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹
患者数	117	7	1	4	14	13	7	352	4(31)
CV-A6		2							
CV-A16		2							
CV-B2	1								
E-11	3					2	1	1	
FluAH1pdm								139	
FluAH3								90	
FluB								75	
MeV									1(2)
MuV						1			
Rota A G1	25								
Rota A G2	1								
Rota A G3	24								
NV-G	22								
SV	3								
AstV	7								
Ad-2	2			1					
Ad-3	4			1	2				
Ad-5	1								
Ad-41	1								
B19V									(7)
検査中	13	3		2	5	5	3	5	1(6)
陰性	22		1		7	5	3	42	2(16)

*インフルエンザは 2010/2011 シーズンの検査結果。

**麻疹の()内は病原体定点医療機関以外からの患者数(別掲)。

略：ウイルス名(他の略名) Ad：アデノウイルス、AstV：アストロウイルス、B19V：ヒトパルボウイルス B19、CV：コクサッキーウイルス(Cox.) E：エコーウイルス、FluAH1pdm：新型インフルエンザウイルス、FluAH3：A 香港型インフルエンザウイルス、FluB：B 型インフルエンザウイルス、MeV：麻疹ウイルス、MuV：ムンプスウイルス、NV：ノロウイルス、Rota A：A 群ロタウイルス、SV：サボウイルス

関連ページ 1)「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

2)「2010/11 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri10_11.html

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

マイコプラズマ感染症 3人。

【一宮市 ささい小児科】

10歳男 カンピロバクター腸炎

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

B 型インフルエンザが見られました。仲の良い幼稚園児間での感染の様です。小学生の兄弟も感染しました。

インフルエンザ B 型 6名、ムンプス 4名、A 群溶連菌 7名、水痘 4名、手足口病 3名でした。

【犬山市 武内医院】

溶連菌感染症やや目立ちます。

【江南市 医療法人みやぐちこどもクリニック】

メタニューモ22例と増えています。(再感染も数例あり)

溶連菌感染症、水痘、伝染性紅斑多発。

ヘルパンギーナ、手足口病も散発しています。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

水痘、手足口病が地域的に流行しています。

伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、溶連菌感染症も見られます。

【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

溶連菌感染症のみ多い印象です。

【豊明市 こども元気クリニック】

溶連菌感染症流行続いています。

アデノウイルス感染症目立ちました。(咽頭結膜熱3歳男)

その他伝染性紅斑、手足口病等。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
手足口病をみます。

【春日井市 春日井市民病院】

溶連菌感染症、リンゴ病 少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

溶連菌感染が続いています。

【小牧市 志水こどもクリニック】

感染性胃腸炎が多いようです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

1歳男病原大腸菌O25(+)VT(-)

5歳男病原大腸菌O1(+)VT(-)

【大府市 まえはらこどもクリニック】

アデノウイルス感染症(扁桃炎 6歳)

手足口病、ヘルパンギーナちらほらでています。
伝染性紅斑つづいています。

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

Strep A(+) 11名

咽頭培養にて溶連菌(+) 1名

イムノエースアデノ(+) 2名

E. coli (O6) + *E. coli* (O20) + カンピロバクター 3歳女

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

マイコプラズマ感染症 7名

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

病原性大腸菌 O125(+)9か月女

アデノ 6歳男

水痘が目立っています。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

溶連菌感染症目立ちます。

その他特記すべきことありません。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

アデノ(+)2歳男、2歳女、4歳男

4歳男、7歳男 病原性大腸菌O1(+)VT(-)

11か月男、1歳男病原性大腸菌O18(+)VT(-)

12歳男 病原性大腸菌O6(+)VT(-)

カンピロバクター 10歳男、8歳女、10か月男

【岡崎市 にいのみ小児科】

2歳女 カンピロバクター

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

水痘と感染性胃腸炎が目立ちます。

【碧南市 永井小児クリニック】

伝染性紅斑多数

【知立市 宮谷クリニック】

マイコ気管支炎3名(5歳1名、4歳2名)

【刈谷市 田和小児科医院】

アデノウイルス感染症 5歳女

病原性大腸菌O25 VT- 6歳男

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

ヘルパンギーナ、手足口病が増えてきました。

A群溶連菌感染症も多いです。

10歳男 カンピロバクター腸炎

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

手足口病流行中。

【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

病原性大腸菌O25 5歳女

【豊川市 ささき小児科】

マイコプラズマが目立ちます。

【蒲郡市 蒲郡市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2011年6月15日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki/jun110401.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2011年23週報告数			2011年累計(1～23週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	11	2	2	320	74	66
豊田市	3	1		38	12	7
豊橋市				40	8	12
岡崎市				36	8	16
一宮	7	1	5	65	22	16
瀬戸	2		2	70	15	18
半田				30	5	16
春日井				47	12	14
豊川				19	5	8
津島	1			31	4	9
西尾	2			29	6	11
江南	1	1		32	8	10
新城				4	1	
知多				61	9	33
師勝				17	6	3
衣浦東部				49	14	12
合計	27	5	9	888	209	251

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	33歳	女	- / -	6 / 7	6 / 7	O157、VT2(+)
2	名古屋市	27歳	男	- / -	6 / 8	6 / 10	O157、VT1(+)/VT2(+) 無症状病原体保有者
3	一宮	28歳	女	5 / 29	6 / 1	6 / 8	O157、VT1(+)/VT2(+)
4	江南	3歳	男	- / -	6 / 3	6 / 8	O157、VT型不明

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	37歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内

ウイルス性肝炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	豊田市	4歳	女	その他(EBウイルス)	不明	国内

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	49歳	男	国内

ジアルジア症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	51歳	男	インド

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	34歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	一宮	48歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	江南	31歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	衣浦東部	37歳	女	無症候	不明	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	知多	40歳	男	不明	国内

麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	34歳	女	不明	国内
2	名古屋市	43歳	男	不明	国内

2011年5月報 (2011年6月9日現在、診断週に基づく集計)

5月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [()は無症状病原体保有者再掲。]

2010～2011年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2011年5月			2011年 総計 <愛知県全体>	2010年 総計 <愛知県全体>	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体			
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (5)	結核	82 (22)	58 (13)	140 (35)	798 (222)	2,037 (351)	
三類 (5)	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	11 (0)	
	腸管出血性大腸菌感染症	1 (0)	1 (0)	2 (0)	16 (6)	237 (56)	
	腸チフス	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	バラチフス	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
四類 (42)	E型肝炎	0	0	0	2	3	
	A型肝炎	1	0	1	1	13	
	オウム病	0	0	0	0	4	
	つつが虫病	0	0	0	0	2	
	デング熱	2	0	2	5	21	
	ブルセラ症	0	0	0	0	1	
	マラリア	0	1	1	2	1	
	レジオネラ症	1	1	2	9	43	
五類 (14)	アメーバ赤痢	0	2	2	12	53	
	ウイルス性肝炎	0	0	0	3	17	
	内訳	B型	0	0	0	3	16
		C型	0	0	0	0	1
	急性脳炎	1	1	2	7	8	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	8	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	1	3	11	
	後天性免疫不全症候群	3	5	8	45	138	
	内訳	無症候性キャリア	2	2	4	23	73
		AIDS	1	3	4	22	56
		その他	0	0	0	0	9
	ジアルジア症	0	0	0	2	1	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	1	
	梅毒	0	3	3	19	53	
	内訳	無症候	0	1	1	7	23
		早期顕症	0	1	1	10	27
		晩期顕症	0	1	1	2	3
	破傷風	1	0	1	1	3	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	2	
	風しん	1	1	2	5	3	
麻しん	1	2	3	13	32		
総 計		95	77	172	950	2,704	

*O121;1件、O157;1件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2011年5月			2011年 総計	2010年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	64	45	109	624	1,680
	性器ヘルペスウイルス感染症	31	24	55	267	609
	尖圭コンジローマ	17	11	28	129	355
	淋菌感染症	20	29	49	271	822
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	118	19	137	583	1,239
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	12	7	19	81	238
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	4
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	1	1	1	-

*2011年2月からの報告対象疾病

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (42疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2011年23週(2011年6月6日～2011年6月12日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
愛知県 (保健所別)																							
愛知県 (名古屋市含む)	195	182	35	54	17	6	21	142	464	1,130	330	193	252	108	7	81	76	0	15	2	0	19	0
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	39	12	1	15	95	352	834	279	168	199	86	4	48	67	0	14	2	0	18	0
名古屋市(16保健所)	70	70	11	15	5	5	6	47	112	296	51	25	53	22	3	33	9		1			1	
瀬戸	9	9	2	3	1		2	26	47	69	20	3	8	9			6		1			1	
津島	7	7	2	2	1				22	108	10	2	17	3			3					3	
師勝	4	4	1	1			2	1	11	11	8	4	5		1	2	1		2				
一宮	16	12	3	4	1			5	41	44	54	12	14	6	1	7	4		2	1		7	
春日井	9	9	2	3	1	1		7	38	55	17	12	10	4	1	3	6						
江南	6	6	1	2			8	11	45	36	16	7	10	16		7	6						
半田	6	6	1	2	1				13	49	13		2	1					2				
知多	7	7	2	2				6	11	46	4	8	5	5		1	7						
岡崎市	11	7	2	4	1			5	32	78	39	1	43	6		1	7		2				
衣浦東部	13	13	2	4	1		1	7	38	88	35	7	32	15		3	14		4				
西尾	5	5	1	2	1			11	3	33	10		9	3		1	3		1				
豊田市	9	9	2	4	1			7	23	72	30	2	17	4	1	1	6						
豊橋市	12	8	2	4	1		1	3	12	60	11	85	3	7		13	3		1			7	
豊川	9	8	1	2	1		1	6	16	81	11	25	21	7		8	1						
新城	2	2			1											1							

